

## 地域住民と大学教員との連携

— 新老人の会広島支部 呉ランチ活動の紹介 —

新老人の会広島支部 呉ランチ 事務局長  
(広島文化学園大学看護学部)

安 藤 純 子

### ■ 活動のあゆみ

新しい老人の生き方を追求する“新老人の会”は、日野原重明会長のもと、会の目標に向けて種々の活動を展開しています。①自立、②世界平和、③自分の健康情報を研究に活用、④会員の交流、⑤自然に感謝の5つの目標を掲げて活動をしています。

平成16年当時中国支部の世話人代表 岩森 茂先生（現広島支部代表世話人）にあっては会員の増強・普及運動の一環としてランチ結成に尽力、その要請を承け呉地方では平成24年3月にお亡くなりまし  
た<sup>えびす</sup> 喜佐登様が世話人代表につかれていました。戎さんは広島支部発足当初からの新老人の会の会員で、日野原先生の趣旨に賛同されご活躍されました。当時は呉のメンバーは3名だったということでした。

新老人の会広島支部 呉ランチの立ち上げに向けて準備を行い、第1回総会の場所は呉市阿賀南にある広島文化学園大学看護学部で平成22年3月23日（火）14時から話し合いを行ったのがつい先日のように思い出されます（写真1、2）。案内用のポスターを試行錯誤しながら作りました。その後、平成22年11月3日に日野原先生をお迎えし講演会の開催致しました（広島支部呉ランチ承認）。それから、毎年、年1回の総会と、年4回以上の世話人会を開催しています。



写真1 第1回総会



写真2

### ■ 主な活動内容の紹介

#### 1. 公開講座

公開講座は、年一回以上行ってきました（表1）。まず始め新老人の会会長である日野原重明先生に、2010年11月「生き方の選択」と題された講演をしていただき、大変好評でした（写真3）。当時99歳で高

あんどう じゅんこ

〒737-0004 広島県呉市阿賀南2-10-3 広島文化学園大学看護学部

表1 公開講座の実施内容

実施日	講師・演題・場所
平成22年11月3日(水) 文化の日	日野原重明(広島支部呉ランチの承認) テーマ「生き方の選択」 場所:クレイトンベイホテル
平成23年10月8日(土)	徳永 進(野の花診療所所長) テーマ「大切なことは死から学んだ」 場所:呉森沢ホテル 共催:新老人の会広島県支部 呉ランチ
平成24年1月23日(月)	レネ・ホレナー Lene Hollander, R.N., M.N.Sc. 前コペンハーゲン市在宅ケア政策責任者、Copenhagen Care Academy テーマ「福祉国家 デンマークにおける高齢者ケアシステム」 場所:広島文化学園大学 呉駅キャンパス 共催:新老人の会広島県支部 呉ランチ
平成24年1月27日(金)	レネ・ホレナー Lene Hollander, R.N., M.N.Sc. 前コペンハーゲン市在宅ケア政策責任者、Copenhagen Care Academy テーマ「軽度要介護高齢者への自立支援」 場所:広島文化学園大学看護学部 大講義室 共催:新老人の会広島県支部 呉ランチ
平成24年1月28日(土)	レネ・ホレナー Lene Hollander, R.N., M.N.Sc. 前コペンハーゲン市在宅ケア政策責任者、Copenhagen Care Academy テーマ「福祉国家デンマーク 在宅ケアシステムと専門職の役割」 場所:広島文化学園大学看護学部 大講義室 共催:新老人の会広島県支部 呉ランチ
平成24年2月27日(月)	ヘリ・キチノヤ先生 HelliKitinoja R.N. M.N. Sc. セイナヨーキ応用科学大学講師、国際交流責任者 テーマ「フィンランドのヘルスケアシステムと高齢者ケア」 場所:広島文化学園大学看護学部 302号室 共催:新老人の会広島県支部 呉ランチ
平成24年3月26日(月)	キャシー・マギルビィ先生 Kathy Magilvy, PhD., R.N., F.A.A.N. (アメリカ合衆国 コロラド州立大学 看護学部副学部長) テーマ「アメリカの地域看護と在宅ケアシステム」 場所:広島文化学園大学看護学部 大講義室 共催:新老人の会広島県支部 呉ランチ
平成24年5月24日(木)	YooHyang Cho, RN, DPH. 韓国 Chodang 大学 前看護学科長 テーマ「Chodang 大学看護学部の紹介説明」 場所:広島文化学園大学看護学部 205 講義室 共催:新老人の会広島県支部 呉ランチ
平成24年5月25日(金)	YooHyang Cho, RN, DPH. 韓国 Chodang 大学 前看護学科長 テーマ「韓国における地域ケアと在宅ケアのシステム」 場所:広島文化学園大学看護学部 302 講義室 共催:新老人の会広島県支部 呉ランチ
平成24年10月13日(土)	講師:川島みどり(健和会臨床看護学研究所長、日本赤十字看護大学名誉教授) テーマ「人々のつながりとケアの可能性 ～暮らしとコミュニティを支える看護～」 場所:呉市文化ホール 共催:新老人の会広島県支部 呉ランチ
平成25年10月5日(土)	講師:水谷 修 テーマ「子どもたちへ送るメッセージ」 場所:呉阪急ホテル 共催:新老人の会広島県支部 呉ランチ
平成26年9月26日(金)	講師:曾野綾子 テーマ「人々の中の私」 場所:呉市文化ホール 共催:新老人の会広島県支部 呉ランチ

齢の日野原先生の講演内容だけでなく、活気にあふれた歩き方、背筋などには、圧倒されました。勿論、お話から夢、勇気、感動など多くの方々のこれからの生き方に関連する内容でした。

その後も広島文化学園大学看護学部の公開講座では、共催させていただき、どの会場でもほぼ満席と多くの市民の方に喜ばれました。



写真3



写真4

なお、写真4のスタンド花は、曾野綾子先生の公開講座に新老人の会広島支部 呉ブランチよりお送りしたものです。

2. チャリティコンサート

平成22年12月21日、トーク&ジャズコンサートのチャリティコンサートとして鎌田 實先生（医師）、坂田 明さんに来ていただきました（写真5、6）。場所は、呉市文化ホールで行いました。

鎌田 實先生は、平成16年に呉ブランチ事務局がある広島文化学園大学の公開講座に来られています。またチャリティコンサート実行委員会主催で行われました呉市出身のミュージシャンであるサックス奏者の坂田 明さんとのジョイントコンサートの後援をさせていただきました。収益は世界の困窮する子どもたちへということで、公演収益の総てを呉市に寄贈しています。



写真5



写真6

3. ソフト食紹介

広島文化学園大学看護学部オープンキャンパスに合わせ、管理栄養士の湯川和子先生のご協力を得ながら、大学内の調理実習室で（表2）、ソフト食の説明（写真7）と試食（写真8）をしていただきソフトの普及に努めました。「形がしっかりしているのでよい」「これなら作れる」「これから年をとるので必要になる」など、多くの市民の方に喜ばれました。

表2 ソフト食紹介の開催

実施日	献立
平成 23 年 6 月 19 日（日）	テーマ：高齢者ソフト食ってな～に？ 献立：豆乳蒸し、白身魚の薬味ソースかけ、かぼちゃボールのあんかけ、ソフトご飯 場所：広島文化学園大学看護学部調理実習室 共催：新老人の会広島県支部 呉ブランチ

平成 24 年 6 月 17 日 (日)	テーマ：家族みんなで囲む食事 家族の食育ーソフト食ー 献立：魚の香味ソース、ポタージュスープ、ソフトごはん 場所：広島文化学園大学看護学部調理実習室 共催：新老人の会広島県支部 呉ランチ
平成 25 年 6 月 30 日 (日)	テーマ：高齢者のいる家族の食事 ー調理を通して介護予防ー食と思い出 献立：桜餅と蒸し豆腐 場所：広島文化学園大学看護学部調理実習室 共催：新老人の会広島県支部 呉ランチ
平成 26 年 5 月 25 日 (日)	テーマ：高齢者のいる家族の食事 ー調理を通して介護予防ー食と思い出 パート2 献立：ソフトご飯、鶏ミンチの磯辺焼き、高野豆腐のポタージュ、ひじきとエビのゼリー寄せ 場所：広島文化学園大学看護学部調理実習室 共催：新老人の会広島県支部 呉ランチ



写真7



写真8

#### 4. お茶会

会員の皆様からの発案と、茶道 裏千家淡交会呉支部、茶道江戸千家不白会呉支部の皆様の協力でチャリティ茶会を実施することができました(表3)。とても高価な茶道具をはじめ殆どのものを会員の方から提供していただきました。とても感謝しております。毎回、200人以上の市民の方に参加をしていただき喜ばれました(写真9, 10, 11)。

表3 お茶会の開催

No	実施日	場所
1	平成 24 年 9 月 17 日 (日) (敬老の日)	茶道 裏千家淡交会呉支部 淡交会呉道場 (西片山町)
2	平成 25 年 10 月 20 日 (日)	茶道 裏千家淡交会呉支部 淡交会呉道場 (西片山町)
3	平成 26 年 10 月 26 日 (日)	茶道江戸千家不白会呉支部 呉市入船山記念館 (重要文化財 旧呉鎮守府司令長官官舎) 後援：呉市教育委員会



写真9



写真10



写真11



## 5. 日帰りイベント「郷土の文化を知る旅」

会員同士の親睦を図るため、また、知っているようで知らない身近な郷土について実際に行ってみることが目的で始めました。

はじめての日帰り旅行の計画で、「郷土の文化を知る旅」と題してバスツアーを企画しました（表4）。

表4 日帰りイベント「郷土の文化を知る旅」の開催

No	実施日	場所
1	平成23年7月27日（水）	地元ガイドさんとゆく御手洗地区（大崎下島）と蘭島閣美術館・松濤園・三ノ瀬御本陣芸術文化館
2	平成24年7月21日（土）	地元ガイドさんとゆく西条酒蔵巡りと美酒鍋
3	平成25年7月23日（火）	地元ガイドさんとゆく竹原 重要伝統的建造物群保存地区とアオハタジャム作り
4	平成26年6月14日（土）	湧永満之記念庭園とミシュランガイドの日本料理

### 1）地元ガイドさんとゆく御手洗地区（大崎下島）と蘭島閣美術館・松濤園・三ノ瀬御本陣芸術文化館（平成23年7月27日）

潮待ち、風待ちの港といわれる豊町御手洗は、重要伝統的建造物群保存地区で地元ガイドさんの説明を聞きながら、観光をしました。写真12は、有名な御手洗の高灯籠です。まだまだ地域を知ること、発見することはたくさんあると思いました。1858年創業といわれる現在も営業中の最も古い時計店（写真13）、病院の看板は当時の読み方で右から読む旧越智医院（写真14）、また歌舞伎や映画の上映などに使われた乙女座（写真15）など、多くの歴史が残る町でした（写真16）。町はきれいに手入れされ、家々の前には個性あふれる花が飾ってあり島民の方の心づかいを感じました（写真17）。



写真12



写真13



写真14



写真15



写真16



写真17

## 2) 地元ガイドさんとゆく西条酒蔵巡りと美酒鍋（平成24年7月21日）

まずはじめに、東広島指定重要文化財である旧石井家に参りました（写真18）。現在は元の場所から移築されていました。江戸時代に酒造業を営んでいたと伝えられており、幕末には旅籠、明治初期には薬屋を開業していた商家です。家屋には当時のものも置いてありました（写真19）。

その後、地元ガイドさんと西条酒蔵巡りをしました（写真20）。いろんな銘柄の日本酒の試飲もさせていただきました。説明を聞きながら、あの有名な日本酒と思いつつ、多くの方々の努力で作られている味を噛みしめました。

また、美酒鍋は、初めて食しましたが、とても美味しく、その後、自分でも作ってみました。会の方々と食べた時を思い出しながら、西条で作られたお酒を入れ、始めて美酒鍋を作ってみました。



写真18



写真19



写真20

## 3) 地元ガイドさんとゆく重要伝統的建造物群保存地区とアオハタジャム作り（平成25年7月23日）

地元ガイドさんの説明を聞きながら重要伝統的建造物群保存地区（写真21）とその地にある塩田で栄えた竹原市重要文化財 森川邸（写真22）まで案内していただきました。重要伝統的建造物群保存地区は、昔の日本の姿を思い起こさせる光景で、心休まる風景でした。



写真21



写真22

また、この竹原の地は、江戸後期の儒学者・漢学者で、祖父の頼惟清は竹原出身、父の頼春水は広島藩の儒者であった日本外史でも有名な頼山陽（1780～1832）の銅像（写真23）と詩碑（写真24）がありました。

初代郵便局跡（写真25）には、1871年郵便事業創業当時使用していたものと同じ型のポスト（書状集箱）であると書かれていました。その他、現在は竹原市歴史民俗資料館（写真26）といった洋館も含め古い建造物が保存されていました。

食事は、たけはら魚飯（写真27）をいただきました。みなさんと手水鉢のある森川邸（市重要文化財）の日本庭園を鑑賞しながらのお食事は優雅で、とても美味しく五感のすべてに刺激的でした。

その後、竹原市忠海にあるアヲハタジャムデッキ（写真28）に行きました。壁は、おしゃれなブルーの洋館です。しかし、中に入ると、白を基調に清潔感あふれており、思わず素敵と言葉が自然に出てきました（写真29、30）。





写真23



写真24

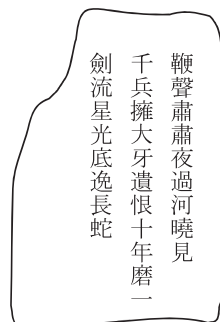


写真25



写真26



写真27



写真28



写真29



写真30

#### 4) 湧永満之<sup>わくながまんじ</sup>記念庭園とミシュランガイドの日本料理（平成26年6月14日）

平成26年6月14日に行ってきました。花は、多種多様なバラに始まりポピー、しもつけ、属名を楊貴妃のまつ毛と言われる未央柳も咲いていました。歩いているといろんな花の匂いに誘われてとても心地よくなりました（写真31）。

また、桃花庵<sup>とうかあん</sup>の日本料理は、食べるものすべてにおいて繊細に手を加えられており、とても美味しくいただきました（写真32, 33）。



写真31



写真32



写真33

## 6. 模擬店と場所

模擬店をはじめて早いもので、5回出店させていただいています（表5）。

衣類では、仕立ての良いスーツ、可愛いワンピース、着物の反物、アクセサリ、靴、時計といった多くの種類と個数を出品していただきました。また、食器・タオルといった日常雑貨、お鍋やお皿の台所用品も、多くの種類と個数を出品していただきました。野呂山学園の花も出品していただきました。

食料品では、お米は郷原産と、県北の千代田産のはぜ干し米がありました。野菜も持参していただき地産地消で皆様のご協力を得て、行っています。恒例となり、楽しみに来店されるかもおられます。北海道産のじゃがいもは、毎年、寄付をしていただいています。じゃがいもは、1年目は秤で計測していましたが、今では目分量で袋に入れているため、消費者によく見て購入するように説明しています。いろんな方との出会い、また、販売をするといった非日常を体験することを大学生の協力を得ながら楽しんでいます（写真34, 35）。

表5 大学祭模擬店と場所

No	出店日	開催場所
1	平成 22 年 11 月 7 日（日）	場所：広島文化学園大学郷原キャンパス
2	平成 23 年 11 月 6 日（日）	場所：広島文化学園大学阿賀キャンパス
3	平成 24 年 11 月 24 日（土）	場所：広島文化学園大学阿賀キャンパス
4	平成 25 年 11 月 24 日（日）	場所：広島文化学園大学阿賀キャンパス
5	平成 26 年 11 月 22 日（土）	場所：広島文化学園大学阿賀キャンパス



写真34



写真35

## 7. クリスマスコンサート

毎年12月に行っている音楽とリラックス体操を新老人の会広島県支部 呉ランチ共催で行ってまいりました（表6）。地域の方々に大変、喜んでいただき「楽しかった」などの感想をいただいております（写真36, 37）。

表6 クリスマスコンサート開催

実施日	内容
平成 22 年 12 月 18 日（土）	テーマ：クリスマスコンサートとゆらっくす体操による癒し 場所：広島文化学園大学阿賀キャンパス 共催：新老人の会広島県支部 呉ランチ
平成 23 年 12 月 11 日（日）	テーマ：クリスマスコンサートとゆらっくす体操による癒し 場所：広島文化学園大学阿賀キャンパス 共催：新老人の会広島県支部 呉ランチ
平成 24 年 12 月 16 日（日）	テーマ：音楽と癒しのつどい 楽器演奏やコーラス、最後はゆらっくす体操 場所：広島文化学園大学阿賀キャンパス 共催：新老人の会広島県支部 呉ランチ
平成 25 年 12 月 14 日（土）	テーマ：音楽とリラックス体操のつどい 渡辺敏子先生（会員）：日本ボディポテンシャル協会 ポテンシャルヨーガ公認指導士 骨盤体操インストラクター クライムアーツ生演奏：安藤充昭（サクソフォーン）、平井幸治（ピアノ） 場所：広島文化学園大学阿賀キャンパス 共催：新老人の会広島県支部 呉ランチ





写真36



写真37

## ■ ニュースレター発行

新老人の会広島支部 呉ランチ世話人会の中でニュースレターを作成しようということになりました（表7）。しかし、記事は何を書いたらよいのかといった手探りの状態でした。ニュースレターの文字はどのような書体が適切かという話し合いを持ちました。世話人のなかで「新老人の会 呉ランチ」を書いていただき（図1）、また他の世話人の一人に蔦の絵をかいていただき、といったように協力し合いました。「新老人の会 呉ランチ」の文字の「老」など、とても個性的であり、心温まる文字にできあがったと思います。勿論ニュースレターの記事を皆様に書いていただき何とか2011年3月創刊号ができた時には感激しました。第3号発刊までは、費用の負担を考慮し世話人でカラー印刷をしておりました。しかし、第4号（平成26年3月）からは、何とか印刷だけは念願の印刷業者に依頼をすることが可能になりました。少しずつではありますが、皆様のおかげで改善ができております。

表7 ニュースレターの発刊日

号	発刊日
創刊号	平成23年3月28日（2011年）
会報2号発刊	平成24年3月28日（2012年）
会報3号発刊	平成25年3月28日（2013年）
会報4号発刊	平成26年3月28日（2014年）
会報5号発刊	平成27年3月28日（2015年）



図1

## ■ その他

### 1. 日野原先生百歳のお祝い

2010年11月25日に日野原先生百歳を迎えられた日野原先生へ、新老人の会広島支部 呉ランチからのお祝いを直接お届けしました。

### 2. 震災へのお見舞い

東北地方太平洋沖地震が、平成23年（2011年）3月11日（金）午後2時46分頃、三陸沖を震源とするマグニチュード（M）9.0の地震がありました。その後の津波・原発事故、さらに余震が続く、医療従事者、予備自衛隊員だけでなく、水道・消防・電気・放射線取扱関係者など多くの職種、ボランティアの方々が、復興支援に東北に行かれました。私たちのできることを考え、バザーなど会員をはじめ皆様の協力で得

られた収益を世話人会で承認を得て、新老人の会広島支部 呉ランチとして義援金を送金させていただきました。

また、平成26年8月20日の広島市豪雨災害には、チャリティ茶会の収益を全額寄付させていただきました。

## ■ まとめ

新老人の会広島支部 呉ランチの方々をはじめとした地域の方と連携をとりながらの会の運営は、私たちへ多くの新たな情報・発見をもたらし、より豊かな人生になるための活動となっています。半世紀以上生きてきて、なお未知なる扉を開けることができ大変嬉しく思っています。

今後とも新老人の会広島支部 呉ランチ活動として、地域住民と大学教員との連携をしていきたいと思しますので、よろしくお願いいたします。

なお、記載内容については、新老人の会広島支部 呉ランチ代表の香川治子様の承諾を得て掲載しています。